

令和4年度 第2次筆記試験 事例Ⅳ(解答用紙)

第1問 (配点 25 点)

(設問 1)

	(a)	(b)
①	売上高総利益率	59.59 (%)
②	棚卸資産回転率	33.41 (回)
③	労働生産性	820.17 (万円/人)

(設問 2)

同業他社に比べて労働生産性が低い。その要因
は、売上に比べて従業員数が過大なため一人
当たりの売上高が低いこと、労働分配率が高い
こと、資本装備率が低いことが挙げられる。

第2問 (配点 20 点)

(設問 1)

(a)	2,840,000 円
(b)	<p>製品 1 個の 1 時間当たりの限界利益を計算すると、 製品 A : $(7,800 - 400 \times 4 - 1,200 \times 2) \div 2 = 1,900$ 円/h 製品 B : $(10,000 - 400 \times 2 - 1,200 \times 4) \div 4 = 1,100$ 円/h 作業時間以外に制約条件がないので、限界利益が大きい製品 A を作業時間の上限まで生産する。生産数は、 $3,600 \div 2 = 1,800$ この時の利益は、 $3,800 \times 1,800 - 4,000,000 = 2,840,000$</p>

(設問 2)

(a)	2,200,000 円
(b)	<p>製品 A の生産数を X、製品 B の生産数を Y とすると、制約条件は、 原材料 $4X + 2Y \leq 6,000$ 作業時間 $2X + 4Y \leq 3,600$ 2 つの制約条件の交点を求めると、 $X = 1,400$、$Y = 200$ これが利益を最大にするセールスマックスで、その時の利益額は、 $3,800 \times 1,400 + 4,400 \times 200 - 4,000,000 = 2,200,000$</p>

第3問 (配点 35 点)

(設問 1)

(a)	412,500 円
(b)	<p>自社で点検整備を行う場合の変動費は $6,000 + 7,500 \times 30\% = 8,250$ 円 買取額を X 円とすると、外注した場合の費用は、 $0.02X$ 円 なので、 外注費が自社整備を下回る条件は、 $0.02X \leq 8,250$ $X \leq 412,500$ 円</p>

(設問 2)

(a)	15,660,000 円
(b)	<p>追加 20 台分の販売収入は $600,000 \times 20 \times 12 = 144,000$ 千円 追加 20 台分の調達費用は $500,000 \times 20 \times 12 = 120,000$ 千円 追加 20 台分の整備費用は $14,500 \times 20 \times 12 = 3,480$ 千円 減価償却費は $72,000 \text{ 千円} \times 90\% \div 15 = 4,320$ 千円 従って、 $CF = (144,000 - 120,000 - 3,480 - 4,320) \times 70\% + 4,320 = 15,660$ 千円</p>
(c)	5.24 年

(設問 3)

(a)	1,591,184 円
(b)	<p>1 年目から 5 年目までの CF の現在価値は、 $15,660,000 \times 4.2124 = 65,966,184$ その後の CF の現在価値は、 $1,500,000 \div 0.06 \times (0.7473 \div 1.06) = 17,625,000$ 初期投資額は、 $72,000,000 + 500,000 \times 20 = 82,000,000$ 従って $NPV = 65,966,184 + 17,625,000 - 82,000,000 = 1,591,184$ 円</p>

第4問 (配点 20 点)

為	替	変	動	リ	ス	ク	と	資	金	流	動	性	リ	ス	ク	が	考	え	ら
れ	る	。	為	替	変	動	リ	ス	ク	は	為	替	予	約	等	に	よ	り	回
避	す	る	こ	と	、	資	金	流	動	性	リ	ス	ク	は	資	金	計	画	を
策	定	し	、	資	金	繰	り	に	応	じ	た	仕	入	を	行	う	等	に	よ
り	資	金	シ	ョ	一	ト	を	回	避	す	る	こ	と	を	助	言	す	る	。